

交通手段確保の現状と課題

路線バスと巡回バスのこれから

自家用車の普及や人口減により、バスの利用者は減少の一途をたどっている状況にあります。「交通弱者の生活の足を確保したい・・・」そうは言っても、財政負担が重くのしかかっているのも事実です。

路線バス

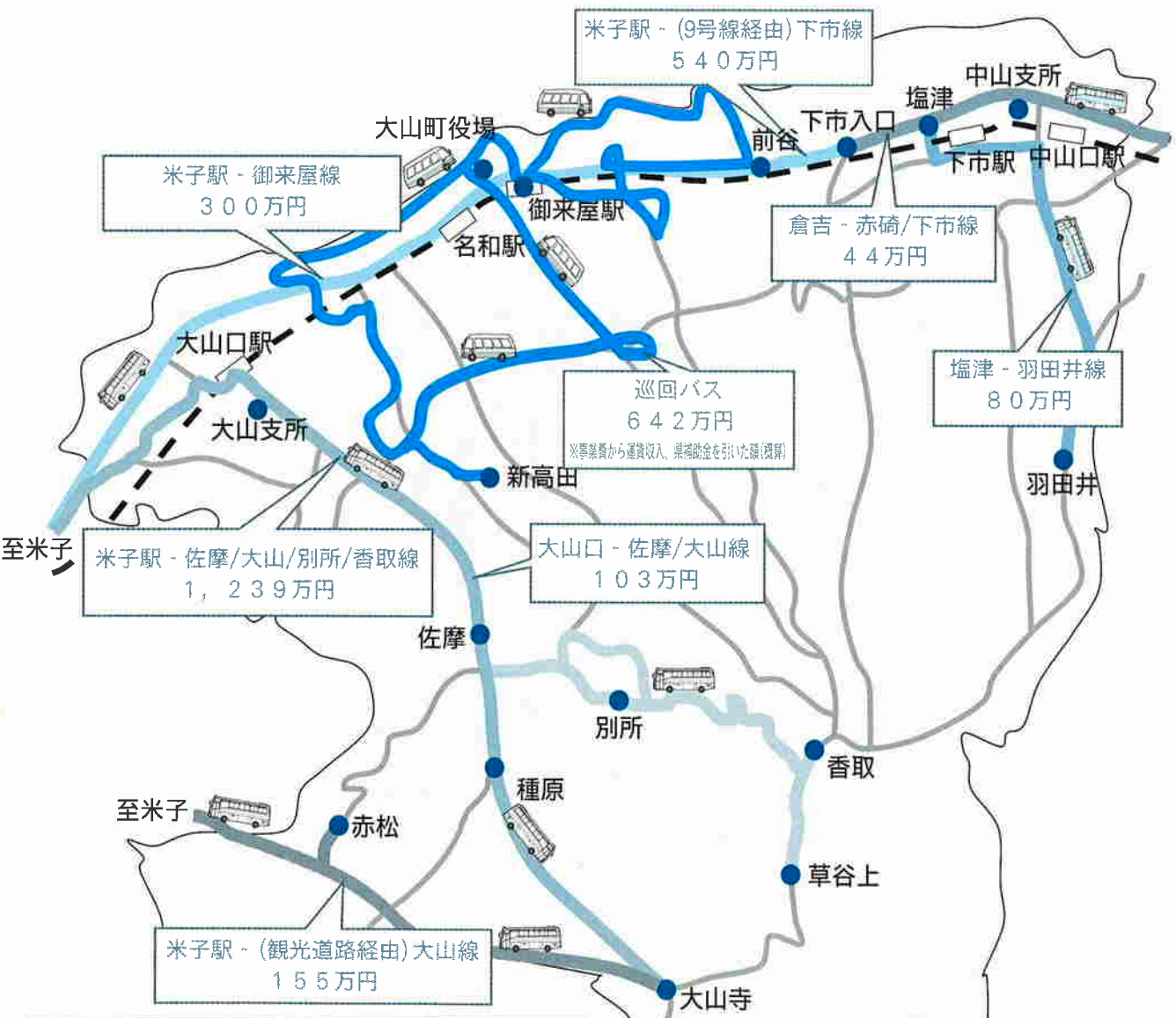
現在町内には日ノ丸バスと日本交通の路線バスが運行していますが、いずれも利用者が少なく、採算がとれない状況にあります。そのため現在は、国や県、市町村で補助金を交付して、バス路線を維持し、高齢者や学生、子供など地域の交通手段の確保につとめています。

巡回バス

平成16年3月に旧名和町で運行を開始してから、2年が経ちました。現在も高齢者の方を中心に、ご利用いただいております。

この巡回バスの運行には、一年間でおよそ890万円の費用が掛かっていますが、それに対し、運賃収入は1年目、2年目ともに1/8程度です。

運賃 1人1回100円
年間利用者数 約1万1千人



現状
~これだけの費用がかかっています~

民間事業者が運行する路線バスを維持するための補助金と巡回バスの運行経費は、それぞれこのようになっており、その合計は、約3,103万円。(平成17年度事業分)